

青雲保育園

私たちの園庭を私たちで作る！！ たくさんの方との繋がり♡造園屋さんとの出会い

保育環境づくりのポイント

1年目に取り組んだ「安心・安全な園庭の土の改良！」2年目は「ワクワク楽しくチャレンジしたくなる環境」をテーマに「築山作り」に取り組みました。ここで重要な土探し！
良いご縁があり素敵な造園屋さんと繋がることが出来ました。また今まで築山作りを経験された園へ見学に行かせていただきました。どこの園の先生方も築山が出来るまでのプロセス等を快く教えてくださいました。「5つの力を育む保育環境作り」に共に取り組む仲間がたくさん居ることの心強さ・人との繋がり大切さを感じています。

～こどもたちのこの力を育みたい～

取組み内容

- ☑感じる・気付く力
- ☑うごく力
- ☑考える力
- ☑やりぬく力
- ☑人とかかわる力



1月末のワークショップでしたが、「サラ土作り」は12月から始まりました。5歳児が始めた築山のためのサラ土作り、いつしか他のクラスも参加し、2歳児さんもサラ土作りを始めました。

3・2・1・Go



【造園屋さん】

ワークショップ当日まで何度も園に足を運び、作業工程と場所の確認、何より私たち保育士の想いを理解しようと耳を傾けてくださいました。ワークショップ当日も私たちの要望に応えながら、さらに子ども達のワクワク感にも付き合いながら、とても柔軟に作業をしてくださいました。



どのボタン
押すん？



【子ども達】

「やらなくちゃいけない」という大人の感覚とは違い子ども達はもくもくとそれぞれのペースで作業をしている感じがありました。「お手伝い」でもなく「褒められたい」からでもなく・・・
自分達の園を自分たちで作る感覚でしょうか？

【保育士の変化】

重機が来て作業が始まった園庭
以前なら「危ない」「外遊びは禁止」と考えていた私たち。今は子ども達とワクワクしながら観察。「これからどんな遊びが展開していくのか」「何が始まるのか」大人もワクワクします。

【経験して初めて感じたライブ感】

砂場の場所を変更しようと会議で何度も話し合い決めた場所がありました。しかしワークショップ当日木村先生からご意見をいただき、実際に置いてみて考えようということになりました。そこで、レッカーで砂場の木枠を移動してもらいました。実際に置いてみて「落ち着く場所はどこかな？」「向きはどうする？」「斜めはどう？」またレッカーで動かしてもらい、その場で場所を決めていきました。

<今回の取組みを通して>

築山作りに際し、沢山の保護者の方の参加していただき、大変有難く思います。これからの子ども達の遊びの展開が楽しみです。

園長 青山敬正

